第12回 北九州学術研究都市

産学連携フェア

INDUSTRY−ACADEMIA COOPERATION FAIR

知と技術の融合

平成24年

会期 10月17日㊌~19日㊎

会場 北九州学術研究都市

（北九州市若松区ひびきの）

参加無料

designed by
北九州市立大学 国際環境工学部 建築デザイン学科
平田 進太郎

お問い合わせ先

公益財団法人北九州産業学術推進機構 産学連携統括センター

TEL.093-695-3006 FAX.093-695-3018

URL http://fair.ksrp.or.jp

FAIS

第12回 北九州学術研究都市 産学連携フェア

開会式

[日 時] 平成24年10月17日[水]〈14:40~15:00〉

[会 場] 会議場

基調講演

[日 時] 平成24年10月17日[水]〈15:00~16:00〉

[会 場] 会議場

[定 員] 500名

テーマ 『モノづくりへのこだわり
−国内でのモノづくりと
海外事業展開−』

講 師 トヨタ車体株式会社 取締役社長
網岡 卓二 氏

講演主旨 日本の自動車産業は為替問題を始めとする６重苦に直面しており、生産の軸足は新興国市場を中心とした海外シフトが加速している。この海外シフトによる国内産業の空洞化が懸念される中、トヨタは「国内でのモノづくり」にこだわり、国内生産300万台維持を目標に掲げ取り組んでいる。
我々は、なぜ国内でのモノづくりにこだわるのか、日本にモノづくりを残すために何をすべきなのかについて考える。
また、グローバル化が進展する中で、海外事業展開する際の視点、注意点などのポイントについて、トヨタ車体の海外事業立上げ経験をもとに実例を示しながら解説する。

経 歴 「生年月日」 昭和24年１月２２日

昭和46年3月	九州工業大学 金属加工学科 卒業
46年4月	トヨタ車体株式会社入社 生産技術部配属
51年9月	トヨタ車体労働組合専従（6年）
平成 6年7月	トヨタ車体株式会社 経営企画室 海外プロジェクト 主査
7年4月	スギティークリエーティブス 取締役副社長（5年）
11年6月	トヨタ車体株式会社 取締役
15年6月	同社 常務取締役
19年6月	同社 専務取締役
20年6月	同社 取締役副社長
22年6月	同社 取締役社長（現職）

セミナー

[日 時] 10月17日[水]▶10月19日[金]

[会 場] 北九州学術研究都市 各施設

[内 容] 大学・企業・公的機関による22セミナー開催

展示会

[日 時] 10月17日[水]〈13:00~17:00〉
10月18日[木]~10月19日[金]〈10:00~17:00〉

[会 場] 体育館

[出展者] 展示コーナー ：32機関36小間
特別企画コーナー：10コーナー

交流パーティー

[日 時] 10月17日[水]〈17:30~19:00〉

[会 場] 北九州学術研究都市 カフェテリア

[参加料] ¥1,000

基調講演・セミナーの聴講、見学ツアーへの参加は、事前のお申し込みが必要です。

お申し込み方法
①ホームページからのお申し込み
http://fair.ksrp.or.jp/
②FAXでのお申し込み
裏面の参加申込書をご使用ください。

カー・エレクトロニクスセンター設立5周年記念企画

特別記念セミナー

[日 時] 平成24年10月18日[木]〈13:00~14:00〉

[会 場] 会議場 [定 員] 500名

テーマ 『自動車技術の進展と今後』

講 師 アイシン精機株式会社 取締役副社長
小吹 信三氏

講演主旨 自動車は、モータリゼーションの中で憧れや夢を生み、ドライブという楽しみを提 供してきた。しかし、先進国では、単なる移動手段として、便利さ・使い易さを求めるユーザが増えており、つながることに価値を求める若者の車離れが進むなど、消費者の価値観は大きく変化している。
また、カーシェアやパーソナルモビリティの誕生など、社会インフラとしての自動車の価値も大きく変化しようとしている。
一方、環境・エネルギー・安全等の社会的課題への対応は、世界中で国をあげての 取り組みが進められている。
我々は、このような価値観の変化や社会的課題に対応しつつ、憧れや夢・運転の楽しみを生む、新たな自動車を創り上げていく必要があり、その実現のための中心的技術がエレクトロニクスである。
このような観点から、自動車とエレクトロニクス技術の今後を展望する。

経 歴 「生年月日」 昭和25年3月8日

昭和47年3月	九州大学工学部動力機械工学科卒業
年4月	トヨタ自動車工業株式会社 入社 （57年7月 トヨタ自動車株式会社に社名変更）
平成14年1月	同社 第3企画部部長 兼 LEXUS企画部部長
15年6月	同社 常務役員 就任
19年6月	同社 専務取締役 就任
23年5月	アイシン精機株式会社 顧問 就任
23年6月	同社 取締役副社長 就任（現在）

パネルディスカッション

[日 時] 平成24年10月17日[水]〈16:10~17:20〉

[会 場] 会議場 [定 員] 500名

[テーマ] 『2030年における安全・安心な次世代モビリティ』

[内 容] 迫りくる地球温暖化や化石燃料の枯渇を控えて、100年に一度と言われている技術革新が起きている。果たして2030年には自動車はどうなっているのか？人々の移動手段はどうなっているのか？自動車業界の第一線で働く技術者に占ってもらう。

[パネラー]

アイシン精機	ソフトウェアセンター主査	鈴村 延保 氏
デンソー	研究開発１部部長	隈部 肇 氏
東海理化	開発部部長	梅田 文雄 氏
トヨタ自動車	制御システム開発推進室主査	服部 雅之 氏
富士通テン	開発企画室主査	大和 俊孝 氏

同時開催

◎北九州学術研究都市産学連携フェア新技術説明会（第115回産学交流サロン「ひびきのサロン」）

[日 時] 10月19日[金]〈10:00~17:00〉

[会 場] 技術開発交流センター（5号館）

[定 員] 70名

[主 催] (公財)北九州産業学術推進機構、(国)九州工業大学、(学)産業医科大学、(独)科学技術振興機構(JST)

[分 野] 環境未来都市関連技術
~地元企業に使ってもらいたい医療・福祉、環境関連技術~

[内 容] 新技術説明会とは、大学等の発明者自身が企業関係者を対象に実用化を展望した技術説明を行い、広く実施企業・共同研究パートナーを募るものである。今回は環境未来都市関連技術として、地元企業に使ってもらいたい医療・福祉、環境関連技術の数々を発表する。

[プログラム]
【発表 1】困っている人を工学技術で助けたい「歩行訓練支援装置」(和田親宗：九州工業大学 准教授)
【発表 2】弱視治療用眼鏡箔の開発(岩崎常人：産業医科大学 講師)
【発表 3】体内を動き回るカプセルが医療を変える「内視鏡用自走アクチュエータ」(伊藤高廣：九州工業大学 教授)
【発表 4】命をつないで健康生活「気管チューブ維持システム」(田川善彦：九州工業大学 教授)
【発表 5】手技の容易化・安全化を目指した消化器内視鏡用デバイスの開発(久米恵一郎：産業医科大学 准教授)
【発表 6】フラッシュ蒸発および壁面熱伝達を利用した自動車用排熱回収システム(吉山定見：北九州市立大学 教授)
【発表 7】ナノテクで熱を有効利用「熱電変換の高効率化」(宮崎康次：九州工業大学 教授)
【発表 8】「狙いを定めてレーザ光照射」デジタルデータを送る技術(水井雅彦：九州共立大学 助教)
【発表 9】導電性と耐水性に優れた新規酸化物ガラス(西田哲明：近畿大学 教授)
【発表 10】バブルと放電、衝撃波で水をきれいに「水処理装置」(玉川雅章：九州工業大学 教授)
【発表 11】半導体等の精密洗浄水に適した光触媒ラジカル水(石川精一：北九州市立大学 教授)

発表ごとにお申し込み可 独立行政法人 科学技術振興機構(JST) 産学連携グループ
0120-679-005 FAX 03-5214-8399 scett@jst.go.jp

◎国立高専専攻科学生研究発表会及び研究シーズ発表会

[日 時] 10月19日[金]〈10:00~12:00〉

[会 場] イベントホール、会議場

[主 催] 北九州工業高等専門学校

[プログラム]
・学生研究発表会
北九州高専の専攻科1年生の成果発表
・研究シーズ発表会
若手教員などによる北九州高専の研究シーズの公開

見学ツアー

1 ラボ見学ツアー

◎北九州市立大学 国際環境工学部・大学院国際環境工学研究科

コース1
[日 時] 10月18日[木]〈10:10~11:50〉
[コース] ”ものづくり”ツアー
松永研究室（転造加工を応用した加工法に関する研究紹介）→村上研究室（微小径穴測定装置の開発）→ゴドレール研究室（ロボットハンド及び新型アクチュエータの研究）→白石研究室（省エネで快適な室内空間を目指す”空調性能試験室”）

コース2
[日 時] 10月19日[金]〈16:00~17:20〉
[コース] 水環境・水処理ツアー
水環境・水処理ツアー 安井研究室（水の生物処理）→石川研究室（水の物理化学処理）→門上研究室（水の微量化学分析）

◎九州工業大学 大学院生命体工学研究科

コース1
[日 時] 10月19日[金]〈10:30~12:00〉
[コース] 生体機能専攻ツアー
高嶋研究室（柔軟なセンサ・アクチュエータの医療・福祉・産業への応用）→花本研究室（パワーエレクトロニクス応用、環境と人に優しい高精度電力変換技術の確立）→西田研究室（再生可能資源からの機能性材料の創生とその循環利用）

コース2
[日 時] 10月19日[金]〈13:00~14:30〉
[コース] 脳情報専攻ツアー
古川研究室（データーを多視点から同時に見る）→森江研究室（脳の仕組みをまねた知能集積システム）→吉井研究室（細胞の電気信号）

2 学研都市ツアー

[内 容] 学研都市における、半導体製造関連分野の研究開発を行う施設やマルチメディアステーションである学術情報センターをはじめ、環境エネルギーセンターなど、学研都市特有の施設を紹介する。

[日 時] 10月18日[木]〈10:00~12:00〉

[コース]（予定） ①学研概要説明（10分）
→②共同開発センター（ケミカルプロセス室等）（30分）
→③学術情報センター（30分）
→④環境エネルギーセンター（30分）

展示会（展示コーナー）出展者

環境・バイオ関連

出展者	内容
九州工業大学 熱デバイス研究室	**ナノテクで熱の有効利用** 熱光発電や熱電発電など排熱で発電する様々な技術が提案されており、熱工学の観点から、それらの効率をナノテクで改善する研究に取り組んでいます。
株式会社セパシグマ	**目詰まりしない膜分離技術** 低コスト不織布膜と流動分別効果を利用した新たな水処理技術を紹介します。
ＴＯＴＯ株式会社	**介護現場での排泄処理の肉体的・精神的負担を一掃し、低炭素に貢献する排水圧送技術の開発** 簡単設備・撤去可能な圧送式ベッドサイド水洗トイレの原理・機構と介護の改善並びにCO_2の削減効果の事例を紹介する。
財団法人福岡県環境保全公社 リサイクル総合研究センター	**センターで取り組んでいるリサイクル事業の紹介及び開発した成果の紹介** 産学官民が連携して行うリサイクル技術の開発や社会システムづくり等に対する支援を行っています。共同研究により開発された製品等をご覧ください。
シャボン玉石けん㈱	**石けんリサーチセンターと感染症対策研究センターの紹介** 石けんの特徴や優位性について研究する「石けんリサーチセンター」と、医療現場で無添加石けんによる衛生管理を提案する「感染症対策研究センター」の取り組みを紹介する。
新日鐵化学㈱ ※2012年10月より新日鉄住金化学㈱と社名変更	**新日鐵化学（株）研究所（戸畑地区）の紹介** コールケミカル材料、リチウム二次電池用炭素材料、色素増感太陽電池、有機ＥＬディスプレイ材料、ディスプレイ用耐熱基板、ナノニッケル材料の研究開発を紹介する。
産業医科大学 生体情報研究センター	**生体情報研究センターの外部利用実施** ヒト実験系と試料分析系からなる産業医科大学生体情報研究センターの外部利用が本年６月から開始された。今回はその紹介である。
九州歯科大学 口腔機能学講座 口腔再建リハビリテーション学分野	**インプラントの最適設計を目的とした術前検証システムの開発** インプラント治療におけるトラブルの減少や患者の経済的負担の軽減等を図ることを目的として開発した術前検証システムを紹介する。
九州計測器株式会社	**研究開発に役立つ計測機器・分析機器** 新たに自社開発したパーソナルSPRセンサをはじめ、環境、エネルギー等の研究分野で役立つ最新の計測機器・分析機器を紹介する。
九州工業大学 大内研究室 日本電磁波エネルギー応用学会(JEMEA)	**マイクロ波化学がめざすグリーンイノベーション** あらゆる化学プロセスを高速化するマイクロ波化学は、省エネ技術につながる。一例として、果皮からアロマオイルを効率的に蒸留する方法を紹介する。

半導体・情報アプリケーション関連

出展者	内容
早稲田大学大学院 情報生産システム研究科	**アジア太平洋地域における「最先端の知の共創」** 情報生産システム研究科の幅広い研究活動や地域に密着した実践的な研究成果や業績、ならびに世界に開かれた多分野にわたる特徴ある教育体制などを紹介する。
九州共立大学総合研究所	**九州共立大学のシーズの紹介** プラズマプロセス技術による機能性材料、レーザー光源と光電変換素子を用いた検出装置、ペットボトルを用いた水車と風車の小学生向け教材など。
大日本印刷株式会社	**画像認識ソリューション** 画像認識技術によって動いている人等を検知･追跡するソフトウェアライブラリ、及び得られた行動情報を可視化するソフトウェア。
㈱ヴィンテージ/㈱ブラテック	**福祉業務管理システムシリーズ「みると」「らいと」「ゆめと」/ネット通販支援サービス「BRAEC(ブレイク)」** 成年後見業務、日常生活自立支援事業、福祉サービス相談業務を効率化させる福祉システム/集客・接客・追客のノウハウが詰まったネットショップ支援サービスを紹介。
吉川工業㈱ ＲＦソリューション事業部	**~一歩進んだ安全・安心を~ 製造業におけるRFID活用提案** （1）磁界による距離検知機能付きアクティブＲＦＩＤによる「フォークリフト等作業者接近検知システム」実機デモ（2）その他の活用事例紹介

自動車・ロボット関連

出展者	内容
西日本工業大学研究センター	**実用金型３次元測定機・プレス金型の新技術** 中小企業に適用できる,現場向け・低価格・実用精度・機能拡張可能な３次元測定機の試作機およびプレス金型について提案した新技術を展示する.
九州工業大学 生駒研究室	**パーティクルフィルタが拓くリアルタイム状態推定の世界** センサ信号から情報を実時間で抽出するパーティクルフィルタを,運転者挙動の推定,動画像中の顔装飾,移動ロボットの追跡等のデモを通じて紹介する.
㈱安川電機	**θZサーボモータ** 回転と直動の複合ダイレクトドライブを１台で実現したθZサーボモータの動作を、絵合わせパズルの動きでわかりやすくご紹介します。
北九州工業高等専門学校	**ロボット技術を活用した次世代サービスシステム** 医療向け安全安心システム、新しいロボット・ゲートシステム、遠隔育成管理できる次世代農業用ハウスシステム、3D機械モデルのシミュレーションシステムなどを紹介する。
株式会社 コベルコ科研 九州支店	**自動車関連全般における受託分析、試験、解析、測定サービスの案内** ①自動車構造部材、部品の耐久性評価②Ｌｉイオン電池の安全性評価、信頼性評価、試作、ＣＡＥ③音響評価④計測技術⑤数値解析技術等の研究開発支援

産学連携支援関連

出展者	内容
財団法人福岡県産業・科学技術振興財団（ふくおか IST）	**ふくおかISTの産学官連携事業の紹介** IST産学官事業およびナノテク事業、マッチングコーディネータ事業などの概要と成果事例を紹介する。
野村證券株式会社	**野村グループの産学連携支援体制のご紹介** 北九州エリアに根差した「地域密着型証券会社」として、地域の皆様に向けた情報発信や大学発ベンチャー発掘のお手伝い。
北九州イノベーションギャラリー（産業技術保存継承センター）	**北九州イノベーションギャラリーの活動紹介** 北九州および日本、世界の産業技術に関する資料収集や調査研究活動のほか、技術やデザインをテーマにした企画展、各種教育普及事業プログラムなど、当館の活動を紹介する。
独立行政法人 産業技術総合研究所 九州センター	**地域中小企業と共に歩く産総研** １．暗所においても顕著に優れた防かびを効果を発揮するエコな防かび剤の開発 ２．蛍光性ナノ粒子とイムノクロマト法を用いた食中毒菌の迅速・高感度検出法の開発
福岡ひびき信用金庫	**地域金融機関と地域ファンドのコラボレーション** 地域金融機関としての「福岡ひびき信用金庫」、関連会社の「ひびしんキャピタル㈱」さらに信用金庫の中央機関である「信金中央金庫」の活動内容を紹介
公益財団法人 北九州産業学術推進機構	**学研都市海外大学との共同研究およびFAISの活動紹介** 学研都市に研究室を置く海外大学との共同研究を紹介（英国・クランフィールド大学、中国・清華大学、上海交通大学、北京大学）
九州経済産業局 特許室／九州知的財産戦略センター	**知的財産権を軸にした支援制度のご案内** 中小・ベンチャー企業向けの支援制度のご案内。①審査請求料が半額になる料金減免制度②審査請求の早期審査制度③相談窓口のご案内
福岡県工業技術センタークラブ	**福岡県工業技術センタークラブのご紹介** 本展示会では①センタークラブの紹介②会員企業と工業技術センターとの共同による技術開発についてポスター展示による成果事例発表を行う。
株式会社 福岡銀行	**福岡銀行グループでの産学官連携支援活動の紹介** 「福岡銀行」及び関連グループ会社である「FFGビジネスコンサルティング」の産学連携事業に関する活動内容を紹介する。
福岡バイオバレープロジェクト（久留米リサーチ・パーク）	**バイオクラスターの形成を目指して** バイオ関連企業の創出、誘致及び大学、公設試等のバイオ研究機関、研究者の集積を図り、久留米地域を中心としたバイオクラスター形成を目指すプロジェクトである。
（独）科学技術振興機構（JST）さきがけ「太陽光と光電変換機能」研究領域 領域事務所	**戦略的創造研究推進事業 さきがけ「太陽光と光電変換機能」研究領域の紹介** さきがけは未来のイノベーションの芽を育む個人型研究を支援するＪＳＴの事業。文部科学省の戦略目標に基づき設定された本研究領域の取り組みを紹介する。
西日本シティ銀行	**西日本シティ銀行の環境金融について** 省エネルギー等の環境対策を行うお客様へ当行の環境関連融資商品である「NCB環境応援資金」「環境私募債」「成長企業応援ファンド」等を紹介する。

セミナーは裏面をご確認下さい。

展示会出展者による特別企画コーナー（実演、ミニセミナー、相談コーナー等）

北九州市立大学 環境技術研究所

テーマ 環境技術で確かな未来を！環境技術研究所の挑戦

北九州市立大学は本年３月に環境技術研究所を設立した。キックオフイベントとして研究所の三センター「産業技術研究センター」・「災害対策技術研究センター」・「国際連携推進センター」を紹介するとともに、研究所のもつ災害復興技術・環境技術シーズを実物・模型展示等で紹介する。

クローラー部分はトピー工業株式会社の製品です

デモンストレーションやセミナー等のイベントの紹介

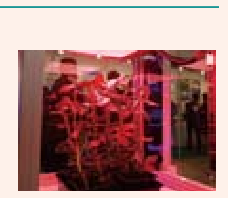
魚ロボット（山本研究室）や移動式火災現場監視カメラ（城戸研究室）といった災害対策・復興支援に有効な技術シーズの展示及び実演を行う。

ひびきのLEDアプリケーション創出協議会

（公財）北九州産業学術推進機構半導体技術センター、㈱iTest、㈱アドバンテスト、㈱アドバンテスト九州システムズ、㈱イーズ、㈱STEQ、鹿児島大学大学院、㈱春日工作所、佐鳥電機㈱、新日本無線㈱、㈱東芝セミコンダクター＆ストレージ社、東芝ライテック㈱、博通テクノロジー㈱、㈱豊光社、㈱マリンテック

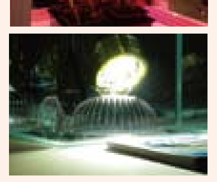
テーマ Reference Model Exhibition

協議会を発足して以来、“学術研究都市発”ＬＥＤを活用した新応用商材が次々に完成しつつある。フェアでは、「漁業用・海難救助用高輝度ＬＥＤ照明」、「植物工場」、「ＬＥＤデジタル電源」、「抗菌ペプチド生成」等、協議会の成果物を紹介する。



デモンストレーションやセミナー等のイベントの紹介

■㈱東芝セミコンダクター＆ストレージ社による研究開発体制紹介
■㈱アドバンテストによるクラウドテスティングデモンストレーション
■ＬＥＤアプリケーションの各種リファレンスモデルの紹介



九州工業大学衛星開発プロジェクト 九州工業大学生命体工学研究科

早瀬・パンディ研究室
バイオエンジニアリング系研究室
石井研究室

テーマ 未来を拓く生命体工学

H-IIAロケット21号機で打ち上げられ,世界で初めて太陽電池で300ボルト発電に成功した「鳳龍弐号」（九州工業大学 衛星開発プロジェクト）,次世代型太陽電池として新しい市場開拓を期待されているシリンダー型太陽電池（早瀬・パンディ研）,機械工学の知識と技術を用いた、バイオ・医療に貢献する先端的な研究開発（バイオエンジニアリング系研究室）について紹介する。

鳳龍弐号

デモンストレーションやセミナー等のイベントの紹介

日本大会５連覇中の自律移動型サッカーロボットや船底清掃用水中ロボット（石井研）等の展示及びデモンストレーションを行う。

サッカーロボット

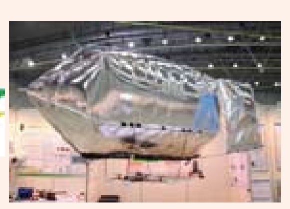
飛行ロボット特設コーナー

デモンストレーションやセミナー等のイベントの紹介

「ハイブリッド型飛行観測システム」の紹介とデモンストレーション

会場内の様子を、天井付近に浮遊する飛行ロボットから地上基地局へリアルタイム画像転送し、撮影するデモを行います。

■プロジェクト名：平成23年度市内発ロボット創生事業「ハイブリッド型飛行観測システム」
◆プロジェクトリーダー
北九州工業高等専門学校機械工学科滝本隆研究室
◆プロジェクトメンバー
株式会社ふるさとカンパニー、九州工業大学工学研究院機械知能工学研究系 助教 西田健
九州職業能力開発大学校
◆アドバイザー
北九州市立大学大学院
国際環境工学研究科
教授 山本郁夫



産業医科大学 リハビリテーション医学講座

テーマ リハビリテーション医療における医工連携プロジェクト

医療現場のニーズと地域の大学・研究機関等の有する技術シーズをマッチングして進められる、「下肢麻痺者のための簡易な立脚期制御膝継手システム」、「筋電信号による上肢リハビリシステム」、「障害者の運転適正判定システム」などを紹介する。

デモンストレーションやセミナー等のイベントの紹介

展示ブースにて、デモンストレーション映像やパネルでの紹介ならびに体験コーナーを設置する。

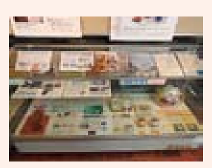
福岡県工業技術センター 機械電子研究所

テーマ 福岡県工業技術センタークラブ 機械電子技術部会 研究開発成果展示

工業技術センタークラブは、会員企業（約２００機関）とセンターが、研究開発を軸とした「共創」関係を構築している。ここでは、機械電子研究所で手掛けた研究開発内容を中心に展示出展を行う。具体的には、成果物・パネルの常設展示、定期的に機電研紹介ＰＰＴやＴＶ報道内容の放映を行う。

デモンストレーションやセミナー等のイベントの紹介

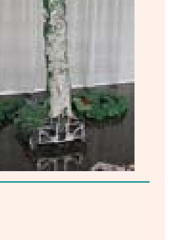
開発成果物「管内検査ロボット」・「レールボンド」等の成果物及びパネル展示、加えてセミナーも行うためこれに連動したパネル等の展示を行う。



北九州工業高等専門学校 ロボコンチーム あばうたぁ～ず

テーマ 高専ロボコン出場ロボットの展示・デモンストレーション

高専ロボコンは、全国から57校62キャンパスの高等専門学校が参加する全国規模の教育イベントで、1988年から毎年開催されている。北九州高専は地区大会を５度，全国大会を２度優勝している強豪校である。



デモンストレーションやセミナー等のイベントの紹介

第15回高専ロボコンに出場したヘビ型ロボット「にょろ」によるデモンストレーションを行う。

独立行政法人産業技術総合研究所 国立大学法人九州工業大学 公益財団法人国際東アジア研究センター（北九州市）

テーマ 「環境エレクトロニクス分野」での３機関協力の紹介

産総研、九工大および北九州市の連携・協力協定に基づく「環境エレクトロニクス分野」（低炭素社会の実現に貢献するエレクトロニクス分野）での協力について、パネル展示を３機関にて行い、その活動を紹介する。

デモンストレーションやセミナー等のイベントの紹介

10月18日（木）13：00 ～ 15：30には、産総研、九工大および国際東アジア研究センター（北九州市）によるセミナー「環境エレクトロニクス分野の現状と展開」も開催する。

カー・エレクトロニクスセンター 早稲田大学大学院情報生産システム研究科

テーマ カー・エレクトロニクスセンター設立５周年記念

① FAISカー・エレクトロニクスセンターの取組みを紹介。
② 大学等の研究機関による次世代産業技術研究の成果を紹介。
③ 連携大学院のＰＲ活動。
④ 次世代自動車である電気自動車や、学生フォーミュラカー、研究中である自律走行車両の展示やデモ走行、及び一部の車両では試乗会を計画している。

超小型EV COMS（コムス）／トヨタ車体株式会社

デモンストレーションやセミナー等のイベントの紹介

自律走行車両の展示やステレオカメラ、超音波センサー、ＧＰＳを使った自律走行システムの紹介と、超小型EV車両２台の隊列走行デモを実施する。

九工大 フォーミュラカー

隊列走行

北九州商工会議所、会員企業

テーマ 地元企業との様々なマッチングの可能性を探る！商工会議所有効活用術！ＰＲコーナー

経営者の「困った」にお応えしています。経営革新、農商工連携、新連携など事業化のための経営戦略作成支援をはじめ、販路拡大や事業連携をサポートしています。今回は支援企業と一緒に参加し、産学連携の商品開発の可能性を探るとともに、学生に地元企業を知って頂きたいと考えています。

がんばる企業 応援します！！
北九州商工会議所

●「折尾駅西口」→「学研都市ひびきの」

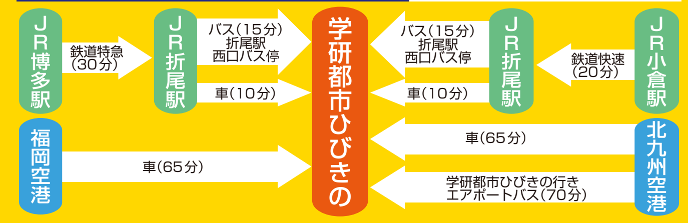
発	折尾駅西口					
行先	二島駅	学研都市				
経由	学研都市	共立大	産業医大入口		ノンストップ	
番号	64	63	33	33循	35	特
10		06 48	18			
11	48			18		
12		48	25 10(臨)			
13	48	10(臨)		18		
14		48	18 00(臨)			

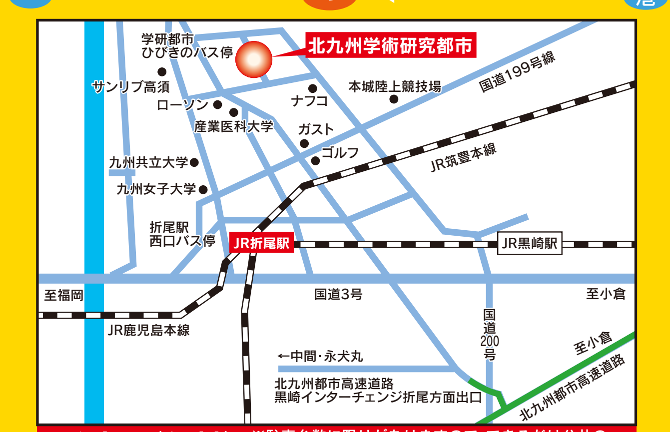
●「学研都市ひびきの」→「折尾駅西口」

発	学研都市ひびきの					
行先	折尾駅西口					
経由	共立大	産業医大入口		共立大	産医大入口	ノンストップ
番号	63	33	33	64	35	特
14	30(臨)	40		11		
15	12	20(臨) 36				
16	39 00(臨)	50		18		
17	23				40	

(臨)…臨時バス 共立大経由…「九州共立大前」、「学研都市ひびきの」のみ停車 産業医大入口経由…「産業医科大学病院入口」、「学研都市ひびきの」のみ停車

折尾駅西口~学研都市ひびきの間 臨時バス運行！ 1日6便 [運賃/片道220円] 是非ご利用ください！





駐車場（無料） ※駐車台数に限りがありますので、できるだけ公共の交通機関をご利用下さい。

第12回 北九州学術研究都市 産学連携フェア

基調講演・セミナー・見学ツアー・お申込み方法

ホームページでのお申し込み http://fair.ksrp.or.jp/

FAXでのお申し込み

第12回 北九州市学術研究都市 産学連携フェア 参加申込書

下記表の参加欄にチェックをつけてFAXにてお申し込み下さい。また、FAXがご利用できない方は、ホームページでも受付いたします。
なお、定員になり次第締め切らせて頂きます。お早めにお申し込み下さい。

●お問い合わせ及びお申し込み先
公益財団法人北九州産業学術推進機構
産学連携統括センター（FAIS）
〒808-0135 北九州市若松区ひびきの２番１号
TEL.093-695-3006 FAX.093-695-3018

FAX. 093-695-3018 E-mail. fair@ksrp.or.jp

参加	基調講演・セミナー・見学ツアー名	日	時
□	基調講演『モノづくりへのこだわり－国内でのモノづくりと海外事業展開－』	10月17日(水)	15:00～16:00
□	パネルディスカッション 2030年における安全・安心な次世代モビリティ		16:10～17:20
□	これからの植物工場技術		13:00～14:40
□	腸内環境改善事業による町おこし		13:00～14:30
□	マイクロ波化学のススメ		13:00～14:30
□	日台環境ビジネスセミナー「LEDの応用」	10月18日(木)	10:00～12:00
□	JASVA Day 九州 ～半導体産業の次代を探る～		10:00～12:00
□	国際化と地域化に貢献できる機械翻訳		10:00～11:00
□	「海外ビジネスにおける『知的財産の活用方法とリスク』について」		10:00～12:00
□	環境技術研究所の挑戦～災害対策・復興技術シーズ紹介～		10:00～12:00
□	特別記念セミナー 「自動車技術の進展と今後」		13:00～14:00
□	産総研、九工大および北九州市によるセミナー「環境エレクトロニクス分野」の現状と展開		13:00～15:30
□	次世代のモノづくりに向けて		13:00～14:00
□	「先端エコフィッティング技術研究開発センター」ワークショップ ～これからの需要をつなぐもの：エコロジー＆エコノミー fromエコフィッティング～		15:00～16:30
□	ふくおかIST「IST産学官事業」成果発表会		13:00～15:30
□	ビジネスイノベーション研究会講演会		13:30～17:00
□	再生可能エネルギーの普及に向けて～太陽熱・地中熱・小水力の利用と今後～	10月19日(金)	10:00～12:00
□	事例に学ぶ「企業成長への道」		10:00～11:00
□	自律行動を可能とするロボット技術		10:00～12:30
□	クリーンエネルギーと環境のための触媒技術		13:25～16:00
□	超精密微細金型加工技術とナノインプリント技術の最新動向		13:00～15:00
□	第53回北九州医工学術者会議「医工および産学連携の実践」		13:00～16:00
□	弾塑性変形のCAEセミナー		13:00～15:30
□	社会に拡がるLED照明－照明デザインと活用事例－		13:30～15:30
□	安全な消防活動を目指して		14:00～15:00
□	国立高専専攻科学生研究発表会及び研究シーズ発表会		10:00～12:00
□	ラボ見学ツアー〈北九州市立大学／コース１〉	10月18日(木)	10:10～11:50
□	ラボ見学ツアー〈北九州市立大学／コース２〉	10月19日(金)	16:00～17:20
□	ラボ見学ツアー〈九州工業大学／コース１〉		10:30～12:00
□	ラボ見学ツアー〈九州工業大学／コース２〉		13:00～14:30
□	学研都市ツアー	10月18日(木)	10:00～12:00

10月19日(金)10：00～17：00
〈新技術説明会〉環境未来都市関連技術～地元企業に使ってもらいたい医療・福祉、環境関連技術～
に関するお申し込みは右記へお問い合わせください　独立行政法人 科学技術振興機構 産学連携グループ 0120-679-005

下記項目をご記入下さい

団体名			
住所	〒		
氏名		TEL	
E-mail		FAX	
役職		所属	

10月17日(水)[午後]

会議場

[14：40～15：00] **開会式**

[15：00～16：00] **基調講演**
テーマ 『モノづくりへのこだわり－国内でのモノづくりと海外事業展開－』
トヨタ車体株式会社 取締役社長 網岡 卓二

[16：10～17：20] **パネルディスカッション**
テーマ 2030年における安全･安心な次世代モビリティ

産学連携センター 研修室

[13：00～14：40]
これからの植物工場技術
●主催 北九州市立大学 国際環境工学部
●定員 100名
現在、気候変動やエネルギー政策の転換等により、食料生産に関しての技術革新が求められています。本セミナーでは、植物工場技術への取り組みの状況と、新光源による最新の植物生産技術、パルプ培地を利用した植物育成方法に関して最新の知見を報告します。
コーディネータ：河野 智謙（北九州市立大学 国際環境工学部 准教授）
●講演１ 「植物工場の今」吉田 敏（九州大学 生物環境利用推進センター 准教授）
●講演２ 「九州沖縄農業研究センター留米拠点での取り組み」
渡辺 慎一（(独)農業･食品産業技術総合研究機構 主任研究員）
●講演３ 「循環型環境調和技術としての光触媒反応水とパルプ培地」
田中 健一郎（有限会社K2R 開発責任者）
●講演４ 「植物栽培用LED光源の開発事例」
真砂 宏章（株式会社iTest 開発担当）
お問い合わせ 北九州市立大学（担当：河野）
TEL 093-695-3207 FAX 093-695-3304
E-mail kawanotom@kitakyu-u.ac.jp

産学連携センター 中会議室１

[13：00～14：30]
腸内環境改善事業による町おこし
●主催 産業医科大学 産業生態科学研究所 健康･予防食科学研究室
●定員 70名
健康な町づくりを目指して福岡県築上郡上毛町でCHO（腸、超、町）元気プロジェクトを進めている。住民の腸内環境改善と超元気になる健康づくりと町の活性化を目指した事業である。その推進計画、伝統料理レシピ活用、子供の食育事業について紹介する。
コーデイネータ：徳井教孝（産業医科大学産業生態科学研究所健康･予防食科学研究室特任教授）
●講演１ 岡崎 浩（福岡県築上郡上毛町教育委員会教務課長）
●講演２ 三成由美（中村学園大学栄養科学部教授）
●講演３ 竹野良一（西部ガスリビング(株)代表取締役）
お問い合わせ 産業医科大学産業生態科学研究所健康･予防食科学研究室（担当：徳井）
TEL 093-691-7456 FAX 093-603-0158
E-mail tokui@med.uoeh-u.ac.jp

産学連携センター 中会議室２

[13：00～14：30]
マイクロ波化学のススメ
●主催 日本電磁波エネルギー応用学会(JEMEA)
九州工業大学 情報工学部 生命情報工学科 大内研究室
崇城大学 工学部 ナノサイエンス学科 池永研究室
●定員 70名
省エネや低炭素化技術として注目されるマイクロ波化学の現状を解説する。マイクロ波技術を，プラスチックリサイクルなどのグリーンテクノロジーに関連するテーマと，細胞培養，遺伝子増幅，医療などバイオ分野に関連するテーマで講演する。
●講演１ 「マイクロ波化学のバイオ技術への展開」
大内将吉 （九州工業大学 情報工学部生命情報工学科 准教授）
●講演２ 「マイクロ波化学によるプラスチックリサイクル技術」
池永和敏 （崇城大学 工学部ナノサイエンス学科 准教授）
お問い合わせ 九州工業大学 情報工学部生命情報工学科 大内研究室（担当：大内）
TEL 0948-29-7824 FAX 0948-29-7801
E-mail ohuchi@bio.kyutech.ac.jp

学術情報センター 遠隔講義室１

体育館

デモンストレーションやセミナー等のイベント紹介
●㈱東芝セミコンダクター＆ストレージ社
㈱東芝セミコンダクター＆ストレージ社の半導体製品やストレージ等、最新の技術開発状況や研究開発体制を紹介する。
●㈱アドバンテストによるクラウドテスティングデモンストレーション
クラウド上に用意された豊富なテスティングＩＰの中からお客様のニーズに最もかなったテストソリューションをジャストインタイムでご利用いただける、クラウドテスティングサービスをデモンストレーションする。

10月18日(木)[午前]

会議場

[10：00～12：00]
日台環境ビジネスセミナー「ＬＥＤの応用」
●主催 公益財団法人北九州産業学術推進機構･台北駐日経済文化代表處
●定員 100名
ＬＥＤの応用は、ＬＥＤが持つ特性を活用し、従来の照明では不可能であった応用用途によって、新たな産業を生みだすことを目的としている。ＦＡＩＳと交流協定を締結する台湾サイエンスパークから講演者を招き、台湾でのＬＥＤ応用について講演を行う。
●講演１ 田中 康彦（FAIS産学連携統括センター 応用技術部長）
河野 智謙（北九州市立大学国際環境工学部 准教授）
●講演２ 陳 鐵元（台湾･工業技術研究院 顧問）
ファシリテーター 岸本 千佳司（(公財)国際東アジア研究センター 上級研究員）
お問い合わせ (公財)北九州産業学術推進機構 キャンパス運営センター（担当：五郎丸）
TEL 093-695-3111 FAX 093-695-3010
E-mail j-goromaru@ksrp.or.jp

産学連携センター 研修室

[10：00～12：00]
JASVA Day 九州 ～半導体産業の次代を探る～
●主催 社団法人日本半導体ベンチャー協会
●定員 70名
世界市場が30兆円規模に達した半導体産業。市場規模は更に拡大していくと思われる。ポイントはアプリケーション分野の動向で、それに従い新たなビジネスモデルや事業戦略が生じてくる。今回のセミナーでは、新市場アプリ、半導体市場の動向等を焦点に開催する。
●講演１ 「新たな電子機器半導体市場は！－今世界では何が起きているのか－」
大幸 秀成（株式会社東芝 セミコンダクター&ストレージ社 電子部品&ストレージ営業センター 新市場開拓推進グループ グループマネージャー）
●講演２ 「世界の半導体市場の動向と今後の見通し」
草間 宏貴（ルネサスエレクトロニクス株式会社 営業企画統括部 市場調査部 課長）
お問い合わせ 社団法人日本半導体ベンチャー協会 事務局（担当：堀）
TEL 03-6379-6254 FAX 03-6379-6256
E-mail infojsv@jasva.org

産学連携センター 中会議室１

[10：00～11：00]
国際化と地域化に貢献できる機械翻訳
●主催 早稲田大学大学院 情報生産システム研究科
●定員 50名
企業が新たな市場に参入するためには、Webサイトや扱い説明書などの国際化と地域化が必須となる。ここは機械翻訳が大きな期待を寄せた。最近の技術を巡って、どこでどの程度で役に立てるか、との問題について解説する。
●講演者 ルパージュ イヴ（早稲田大学大学院情報生産システム研究科 教授）
お問い合わせ 早稲田大学大学院情報生産システム研究科･情報アーキテクチャ分野（担当：ルパージュ･イヴ）
TEL 093-692-5287 FAX 093-692-5287
E-mail yves.lepage@waseda.jp
URL http://www.waseda.jp/ips/kyoin/01_8.html

[10：00～12：00]
「海外ビジネスにおける『知的財産の活用方法とリスク』について」
●主催 九州知的財産戦略協議会（九州経済産業局／北九州市／(公財)北九州産業学術推進機構）
●定員 50名
海外で知的財産支援に広く携わってきた海外知的財産プロデューサーを講師にお迎えする。
海外ビジネスにおける知的財産の活用とリスクについて現地での経験を元にお話しいただく。
併せて知財トータルサポーターより北九州知的所有権センターの業務を紹介する。
●講演１ 茂木 裕之（独立行政法人工業所有権情報･研修館 海外知的財産プロデューサー）
●講演２ 森 直樹（北九州知的所有権センター 知財トータルサポーター）
お問い合わせ (公財)北九州産業学術推進機構（担当：有薗）
TEL 093-873-1432 FAX 093-873-1455
E-mail k-arizono@ksrp.or.jp
URL http://www.ktc.ksrp.or.jp/kipc/

学術情報センター 遠隔講義室１

体育館

[10：00～12：00]
環境技術研究所の挑戦～災害対策・復興技術シーズ紹介～
●主催 北九州市立大学 環境技術研究所
●定員 50名
「災害」は究極の環境問題との認識から、環境技術研究所では「災害対策技術研究センター」を擁して災害対策･災害復興に役立つ様々な研究を行っている。本研究所が持つ研究･技術のうち、放射能汚染廃棄物の処理に有効な「多機能盛土」の研究のほか、実用化に向けて取り組む主要な災害対策･復興技術シーズを紹介する。
●講演１ 大石 徹 （多機能盛土研究会(日鉄環境エンジニアリング㈱)）
●講演２ 山本郁夫 （北九州市立大学国際環境工学部機械システム工学科教授）
●講演３ 高巣幸二 （北九州市立大学国際環境工学部建築デザイン学科准教授）
お問い合わせ 北九州市立大学 環境技術研究所 北九州市立大学事務局 企画管理課（担当：三宅）
TEL 093-695-3311 FAX 093-695-3368
E-mail s-miyake@kitakyu-u.ac.jp

10月18日(木)[午後]

会議場

[13：00～14：00] **特別記念セミナー**
テーマ 自動車技術の進展と今後
小吹 信三
アイシン精機株式会社 取締役副社長

産学連携センター 研修室

[13：00～15：30]
産総研、九工大および北九州市によるセミナー「環境エレクトロニクス分野」の現状と展開
●主催 独立行政法人産業技術総合研究所
国立大学法人九州工業大学
公益財団法人国際東アジア研究センター（北九州市）
●定員 100名
産総研、九工大および北九州市の連携･協力協定に基づく「環境エレクトロニクス分野」の協力について、その現状と展開を３機関から紹介する。
●講演１ 「環境エレクトロニクス研究連携と高度電力化社会が拓く持続可能な成長」未定（未定）
●講演２ 「オープンリサーチをベースとした次世代パワーエレクトロニクス研究連携」
西澤 伸一（産業技術総合研究所 エネルギー技術研究部門、研究グループ長）
●講演３ 「環境未来都市実現に向けた環境エレクトロニクス研究」
安部 征哉、附田 正則（国際東アジア研究センター）
●講演４ 「パワーエレクトロニクス研究連携と大学の新しい役割」
大村 一郎（九州工業大学、教授）
上記の講演に引き続いて、３機関が協力して進めている研究の紹介も予定しています。なお、10月17日（水）～10月19日（金）に、特集企画コーナーとして、”「環境エレクトロニクス分野」での３機関協力の紹介”も開催します。
お問い合わせ 産業技術総合研究所 九州センター 九州産学連携センター（担当：山口秀樹）
TEL 0942-81-3606 E-mail hideki-yamaguchi@aist.go.jp

産学連携センター 中会議室１

[13：00-14：00]
次世代のモノづくりに向けて
●主催 西日本工業大学研究センター ●定員 50名
カメラ制御、画像処理等を独立した機能として実装することで仕様変更が容易な小型･低消費電力なカメラシステムの開発を行う。また、材料特性を活かした接合技術の開発を目的に発熱する回転工具を用いて高分子材料の突合せ接合を試みた事例について紹介する。
●講演１ 「ＦＰＧＡを用いたカメラシステムの開発」
眞田 篤（西日本工業大学 工学部 総合システム工学科 助教）
●講演２ 「高分子材料の接合技術について」
中村 賢治（西日本工業大学 工学部 デジタルエンジニアリング学科 助教）
お問い合わせ 西日本工業大学 学長室･企画課（担当：塩塚）
TEL 0930-23-7956 FAX 0930-24-7900
E-mail shiotsuka@nishitech.ac.jp URL http://www.nishitech.ac.jp

[15：00～16：30]
「先端エコフィッティング技術研究開発センター」ワークショップ ～これからの需要をつなぐもの：エコロジー&エコノミー from エコフィッティング～
●主催 九州工業大学 先端エコフィッティング技術研究開発センター
●定員 50名
希少元素の使用低減、軽量材料の高度化、バイオプロセスによる廃棄物処理、さらにはCO_2の資源化まで、最先端のエコフィッティング技術研究について、技術の着想、技術のポイント、そして技術の効果を概説する。
●講演１ これからの需要をつなぐもの：エコロジー＆エコノミーfromエコフィッティング～先端エコフィッティング技術研究開発センター
春山 哲也 教授（センター長）
●講演２ 有機半導体による電子素子作成のエコフィット技術 高嶋 授（准教授）
●講演３ 汚泥中の細菌間相互作用に着眼した汚泥減量処理のエコフィッティング 前田 憲成（准教授）
●講演４ レーザ表面改質法によるチタンの耐磨耗性向上 山口 富子（准教授）
●講演５ CO2資源化を指向した光触媒ナノ材料の開発 横野 照尚（教授）
●講演６ 閉会の辞 松永 守央（学長）
お問い合わせ 九州工業大学先端エコフィッティング研究開発センター（担当：前田）
TEL 093-695-6064/6065 FAX 093-695-6064/6065
E-mail toshi.maeda@life.kyutech.ac.jp
URL http://www.lsse.kyutech.ac.jp/~ecofitting/bc/

産学連携センター 中会議室２

[13：00～15：30]
ふくおかIST「IST産学官事業」成果発表会
●主催 財団法人福岡県産業･科学技術振興財団（ふくおかIST）
●定員 70名
地域産業の高度化や新産業の創出に資する研究開発に助成を行う「IST産学官事業」の成果を報告する。
●紹介 「IST産学官事業等の事業説明」中村 憲和（財団法人福岡県産業･科学技術振興財団 主幹）
●発表１ 「静電誘引形インクジェット方式による樹脂成型部品の意匠性コーティング技術の開発」
西井 博文（株式会社西井塗料産業 専務取締役）
●発表２ 「ニッケルメッキ排水の工場内ニッケルリサイクル技術の開発」
森 浩一（アスカコーポレーション株式会社 主任）
●発表３ 「薄型インテリア･スピーカーの開発」佐藤 寧（九州工業大学 教授）
●発表４ 「配管肉厚測定ロボットの開発」和田 秀樹（新日本非破壊検査株式会社 課長）
お問い合わせ 財団法人福岡県産業･科学技術振興財団 研究開発支援部･産学連携研究開発グループ（担当：小金丸）
TEL 092-725-2781 FAX 092-725-2786
E-mail koganemaru@ist.or.jp URL http://www.ist.or.jp/

学術情報センター 遠隔講義室１

[13：30～17：00]
ビジネスイノベーション研究会講演会
●主催 経済産業省九州経済産業局、一般財団法人九州産業技術センター、一般財団法人九州地域産業活性化センター、九州知的財産戦略協議会、九州イノベーション創出戦略会議（KICC）
●定員 100名
国際的な市場を中長期的に獲得し続けるためには、技術開発だけではなく、事業における戦略的なビジネスモデルの明確化が不可欠。技術開発、知財マネジメント、国際標準化等を一体としたビジネスモデル構築の必要性と現状について講演を行う。
●講演１ 河村 延樹（経済産業省大臣官房審議官（基準認証担当））
●講演２ 沢 俊裕（株式会社安川電機取締役常務執行役員技術開発本部長）
お問い合わせ 九州経済産業局 産学官連携推進室（担当：村山）
TEL 092-482-5510 FAX 092-482-5392
E-mail murayama-yasuyuki@meti.go.jp
URL http://www.kyushu.meti.go.jp/

体育館

デモンストレーションやセミナー等のイベント紹介
●㈱東芝セミコンダクター＆ストレージ社
㈱東芝セミコンダクター＆ストレージ社の半導体製品やストレージ等、最新の技術開発状況や研究開発体制を紹介する。
●㈱アドバンテストによるクラウドテスティングデモンストレーション
クラウド上に用意された豊富なテスティングＩＰの中からお客様のニーズに最もかなったテストソリューションをジャストインタイムでご利用いただける、クラウドテスティングサービスをデモンストレーションする。

▲テスティング端末

10月19日(金)[午前]

会議場

[10：00～12：00] **同時開催**
テーマ 国立高専専攻科学生研究発表会及び研究シーズ発表会
北九州工業高等専門学校

産学連携センター 研修室

[10：00～12：00]
再生可能エネルギーの普及に向けて ～太陽熱･地中熱･小水力の利用と今後～
●主催 (公財)北九州産業学術推進機構 事業推進部
●定員 100名
再生可能エネルギー固定価格買取制度も今年７月から始まり、再生可能エネルギーの本格的普及が始まりました。
本セミナーでは、将来の地球環境問題解決の糸口となるエネルギー源として、再び注目を集め始めている太陽熱エネルギー利用の最新情報や、北九州地域にて実際にプロジェクトが進みつつある、地中熱、小水力利用技術に関する取組み事例について紹介いたします。
イントロダクション (公財)北九州産業学術推進機構 産学連携統括センター 参与 野田 松平
●講演１ 太陽熱エネルギーの活用を考える
東京工業大学大学院 理工学研究科化学専攻 特任教授 堀田 善治
株式会社 eTEC Marketing 代表取締役
●講演２ マイクロ水力発電の普及と課題 ～北九州での実証試験に向けて～
株式会社協和コンサルタンツ 常務執行役員 経営戦略室 室長 桑野 和雄
経営戦略室 新事業開発担当 左村 公
●講演３ 温暖地域における地中熱･ヒートポンプ応用技術の普及に向けて
～地中熱ヒートポンプシステムの普及の課題を中心として～
北九州市立大学 環境工学部 建築デザイン学科 講師 葛 隆生
お問い合わせ (公財)北九州産業学術推進機構 産学連携統括センター（担当：佐藤）
TEL 093-695-3006 FAX 093-695-3018
E-mail ta-sato@ksrp.or.jp

産学連携センター 中会議室１

[10：00～11：00]
事例に学ぶ「企業成長への道」
●主催 福岡証券取引所
●定員 70名
① 急成長を続けている企業の事例を学び、起業し、成長する為に必要な決断と行動について追求する。証券取引所に上場している一味違った、サービスや商品を提供する企業の中から独自のビジネスモデルで成長している企業を紹介する。
② ＩＰＯ（株式上場）への挑戦～株式上場の仕組みと福岡証券取引所の活動を紹介する。
●講演 久恒 潔 （福岡証券取引所 営業部 参与）
●講演 前野 寿久 （福岡証券取引所 営業部 部長）
お問い合わせ 福岡証券取引所 営業部（担当：前野）
TEL 092－741－8233 FAX 092－713－1540
E-mail maeno@fse.or.jp URL http://www.fse.or.jp/

産学連携センター 中会議室２

学術情報センター 遠隔講義室１

[10：00～12：30]
自律行動を可能とするロボット技術
●主催 ふくおか電子技術ネットワーク
北九州ロボットフォーラム
福岡県工業技術センタークラブ機械電子技術部会
●定員 150名
人とロボットが共存できる社会のために、ロボットの自律行動が必要不可欠である。本セミナーでは、ロボットの自律行動を可能とする最先端のロボット技術に関し、最新の研究開発動向を紹介する。また、主催者による様々な取り組みに関して紹介する。
●講演1 坪内 孝司（筑波大学 システム情報系 知能機能工学域 教授）
●講演2 山本 健次郎（(株)日立製作所 日立研究所 主任研究員）
●講演3 松崎 一成（FAIS産学連携統括センターロボット開発支援部 事業化支援担当課長）
●講演4 奥村 克博、渡邉 恭弘（福岡県工業技術センター機械電子研究所 研究員）
お問い合わせ 福岡県工業技術センター機械電子研究所（担当：渡邉）
TEL 093-691-0260 FAX 093-691-0252
E-mail y-watanabe@fitc.pref.fukuoka.jp
URL http://www.fitc.pref.fukuoka.jp/

体育館

デモンストレーションやセミナー等のイベント紹介
●㈱東芝セミコンダクター＆ストレージ社
㈱東芝セミコンダクター＆ストレージ社の半導体製品やストレージ等、最新の技術開発状況や研究開発体制を紹介する。
●㈱アドバンテストによるクラウドテスティングデモンストレーション
クラウド上に用意された豊富なテスティングＩＰの中からお客様のニーズに最もかなったテストソリューションをジャストインタイムでご利用いただける、クラウドテスティングサービスをデモンストレーションする。

10月19日(金)[午後]

会議場

[13：25～16：00]
クリーンエネルギーと環境のための触媒技術
●主催 石油学会九州･沖縄支部 ●定員 150名
地球温暖化防止、低炭素化社会の構築のために、クリーンなエネルギーや低環境負荷の化学品製造する触媒工業プロセスは益々重要であると考えられる。本セミナーではこのような触媒技術開発の第一線で活躍する研究者３名による講演を行う。
●講演者１ 黎 暁紅（北九州市立大学 教授）
●講演者２ 坂西 欣也（産業技術総合研究所 上席イノベーションコーディネータ）
●講演者３ 関根 泰（早稲田大学 教授）
●コーディネーター 朝見 賢二（北九州市立大学 教授）
お問い合わせ 石油学会 九州･沖縄支部 北九州市立大学 国際環境工学部（担当：朝見）
TEL 093-695-3284 FAX 093-695-3376
E-mail asami@kitakyu-u.ac.jp

産学連携センター 研修室

[13：00～15：00]
超精密微細金型加工技術とナノインプリント技術の最新動向
●主催 福岡県工業技術センタークラブ 機械電子技術部会
●定員 70名
近年、精密金型の製作には，超精密機械加工やフォトリソもしくはナノインプリントとエッチングを併せたMEMS手法が用いられている。本セミナーでは，超精密機械金型加工技術に加え、その金型を使用するナノインプリント技術の最新技術開発事例を紹介する。
●講演１ 「精密切削技術の最前線―微細金型への切削加工適用事例―」
天野 啓（東芝機械株式会社 ナノ加工システム事業部 ナノ加工開発センター 部長）
●講演２ 「ナノインプリント装置開発および応用事例―高輝度LED, ウエハレベルレンズといった応用事例解説―」
小久保 光典（東芝機械株式会社 ナノ加工システム事業部 ナノ加工システム技術部 部長）
お問い合わせ 福岡県工業技術センター機械電子研究所 生産技術課（担当：在川）
TEL 093-691-0260 FAX 093-691-0252
E-mail zaikawa.kouichi@fitc.pref.fukuoka.jp

産学連携センター 中会議室１

[13：00～16：00]
第53回北九州医工学術者会議「医工および産学連携の実践」
●主催 北九州医工学術者協会
●定員 50名
「医工および産学連携の実践」をテーマに２題の特別講演を開催する。産の立場から辻社長に「産学連携-当社の経験から」と、医の立場から菅本教授に「医工および産学連携におけるものづくり（楽観論）」をご講演いただく。
●講演１ 辻 卓則（株式会社ロジカルプロダクト 代表取締役社長）
●講演２ 菅本 一臣（大阪大学医学部附属病院 リハビリテーション部 副部長、大阪大学大学院医学系研究科 運動器バイオマテリアル学 教授）
お問い合わせ 北九州医工学術者協会 産業医科大学リハビリテーション医学講座（担当：和田）
TEL 093-691-7266 FAX 093-691-3529
E-mail f-wada@med.uoeh-u.ac.jp
URL http://www.brain.kyutech.ac.jp/~matsuoka/ikou2/top.html

産学連携センター 中会議室２

[13：00～15：30]
弾塑性変形の CAE セミナー
●主催 福岡県工業技術センター 機械電子研究所
●定員 50名
コンピュータシミュレーションを活用した材料強度解析事例、及びプレス成形解析事例の紹介
①Solid Worksを利用した部品や装置の強度評価事例の紹介
②JSTAMPを利用した最新のプレス金型試作事例の紹介
●講演１ 冨松 和史（(株)アレックスエンジニアリング エンジニアリング部）
●講演２ 杉友 宣彦（(株)ＪＳＯＬ エンジニアリング本部）
お問い合わせ 福岡県工業技術センター機械電子研究所 機械技術課（担当：内野）
TEL 093-691-0260 FAX 093-691-0252
E-mail muchino@fitc.pref.fukuoka.jp

学術情報センター 遠隔講義室１

[13：30～15：30]
社会に拡がるLED照明－照明デザインと活用事例－
●主催 ふくおか電子技術ネットワーク
ひびきのLEDアプリケーション創出協議会
福岡県工業技術センタークラブ機械電子技術部会
●定員 150名
LED照明は居住空間、文化･商業施設、交通インフラ等で様々な活用が進んでいる。本セミナーではLED照明や関連機器の開発企業等を対象に、都市や空間の照明デザインの視点から講演を行うとともに機械電子研究所に導入予定の光学特性測定装置を紹介する。
●講演１ 松下 美紀（株式会社 松下美紀照明設計事務所 代表取締役）
●講演２ 古賀 文隆（福岡県工業技術センター機械電子研究所 専門研究員）
お問い合わせ 福岡県工業技術センター機械電子研究所（担当：西村）
TEL 093-691-0260 FAX 093-691-0252
E-mail knishi@fitc.pref.fukuoka.jp
URL http://www.fitc.pref.fukuoka.jp/

体育館

[14：00～15：00]
安全な消防活動を目指して
●主催 環境･消防技術開発センター（環境技術研究所･産業技術研究センター）
●定員 50名
消防分野における防災について、特に木造建築物を対象とし、現場での経験と建築構造に関する研究成果に基づいた安定化技術を、模型による説明も交え紹介する。
●講演１ 今野 利弘（東京消防庁 八王子消防署）
コーディネーター：城戸 將江（北九州市立大学国際環境工学部建築デザイン学科准教授）
お問い合わせ 北九州市立大学 環境技術研究所 北九州市立大学事務局 企画管理課（担当：三宅）
TEL 093-695-3311 FAX 093-695-3368
E-mail s-miyake@kitakyu-u.ac.jp

10月19日(金) 5号館

[10：00～17：00]
＜新技術説明会＞環境未来都市関連技術～地元企業に使ってもらいたい医療・福祉、環境関連技術～
●主催 (公財)北九州産業学術推進機構、(国)九州工業大学、(学)産業医科大学、(独)科学技術振興機構(JST) ●定員 70名
お問い合わせ 独立行政法人 科学技術振興機構(JST) 産学連携グループ
0120-679-005 FAX 03-5214-8399 scett@jst.go.jp